

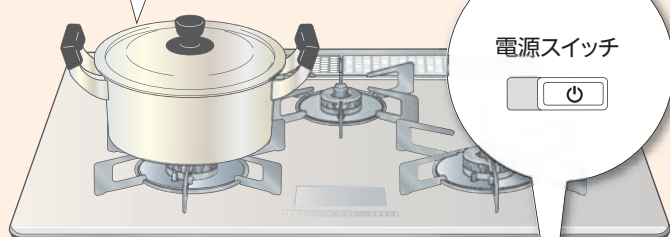
基本の操作

コンロの基本的な操作方法を
ご説明します。



鍋などを置かないと点火
しません!(左/右コンロ)

電源スイッチ



点火ロックが解除されているか、確認する。
右記「不用意な点火を防ぐには(ロック)」参照

❑お願い

パネルや操作部の表面に透明の保護シートが貼ら
れている場合は、ご使用前にはがしてください。
グリル庫内に紙や梱包部材が入っていないか確
認して、すべて取り除いてください。

ワンポイント

炒めもの、いりもの、あぶりものをするときは…
あぶり・高温炒めモードに設定して調理してく
ださい。📖 33 ページ

揚げものをするときは…

温度設定モードで調理してください。📖 29 ページ

お使いになる前に…

1. ガス栓を開ける

ガス栓(ねじガス栓)を
左に回し、全開にする。



2. 鍋などを置く

ごとの中央に鍋などを置きます。

- 鍋などを置かないと点火しません。
「ピピピッ」とお知らせします。(左/右コンロ)
- 鍋などを置いても、温度センサーが鍋底に密着し、押
し下げられていないと点火しません。(左/右コンロ)

3. 電源を入れる

電源スイッチを押す。



基本の操作

1 点火する

操作ボタンを押す。
レンジフードが自動的に「中」の風量にて運転します。

2 火力を調節する

操作ボタンをゆっくり回す。
回すたびに、ランプが点灯・点滅し移動します。
(点滅でも使用できます。)

3 火を消す

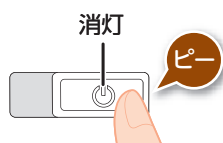
操作ボタンを押す。
レンジフード設定の停止タイマー(約3分)終了後に、
レンジフードの運転は自動停止します。

(コンロの使いかた)

お使いになった後は…

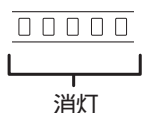
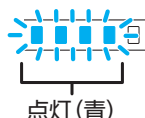
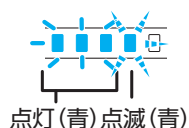
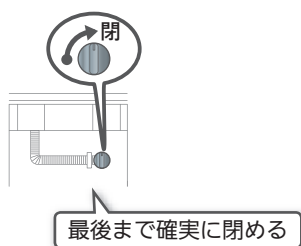
1. 電源を切る

電源スイッチを押す。



2. ガス栓を閉める

ガス栓（ねじガス栓）を右に回し、閉める。



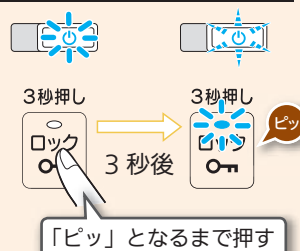
◆お願いと●お知らせ

※ 不用意な点火を防ぐには (ロック) 21 ページ

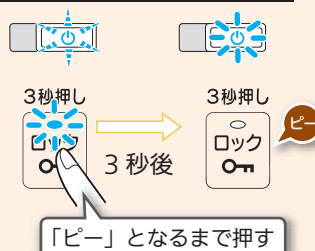
幼いお子様のいたずらや誤操作を防ぐため、操作スイッチをロックすることができます。

電源を入れ、消火していることを確認してから、ロック (解除) してください。

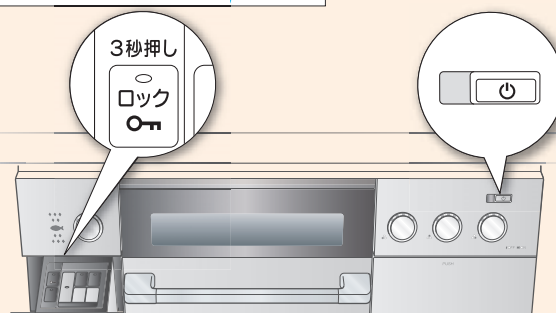
ロックするとき



ロックを解除するとき



○ 消灯 点灯 点滅



※電源スイッチを「切」にしても、ロックを解除するまでロック状態を記憶しています。

- 点火すると、左/右コンロは、弱火側から3個点灯し4番目が点滅します。(中火点火機能) 21 ページ
また、後コンロは、弱火側から5個すべてが点灯します。

◆火力は鍋などの径に応じて、鍋底から炎があふれない程度に調節してください。

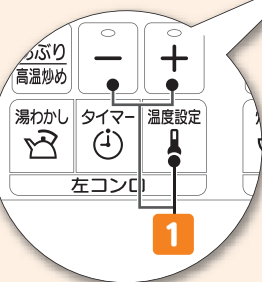
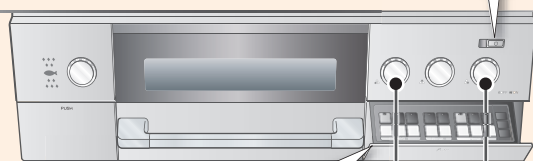
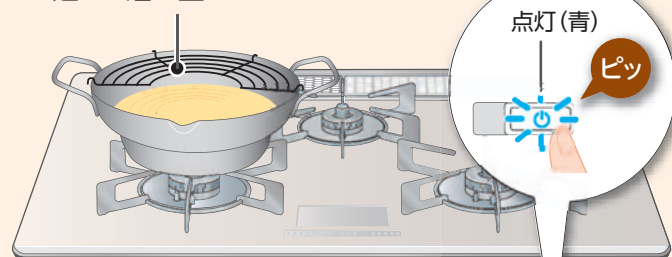
◆必ず火が消えたことを確認してください。

揚げものをする

火力を自動で強火・弱火に調節し、設定した温度をキープします。



1. ほとくの中央に鍋を置く
適した油の量：500ml ～ 1L
2. 電源スイッチを押す



ワンポイント

火加減が難しい揚げもの以外も調理できます。

- 設定温度の目安

140	厚焼き卵、ハンバーグ、クレープ
160	とりのから揚げ、とんかつ、ホットケーキ
180	てんぷら、コロッケ、お好み焼き
200	ステーキ、ポークソテー、かきもち揚げ

鍋の種類・材質や厚さ、油の量などにより、設定した温度と異なる場合があります。

揚げもの調理に適した鍋については、 19 ページをご覧ください。

1 温度を設定する

使用するコンロの温度設定スイッチを押す。
最初は「180℃」が表示されます。

コンロタイマーセットスイッチ[+/-]を押し、
温度を設定する。
130 ～ 220℃まで 10℃刻みで設定できます。

2 点火し、火力を調節する

操作ボタンを押す。
レンジフードが自動的に「中」の風量にて運転します。

操作ボタンをゆっくり回す。

設定温度になると、ブザーでお知らせ

3 調理をはじめる

4 火を消す

操作ボタンを押す。
レンジフード設定の停止タイマー（約 3 分）終了後に、レンジフードの運転は自動停止します。



(温度設定モード)

左/右コンロ

◆お願いと・お知らせ

- 取り消すときは、もう一度温度設定スイッチを押します。
- 2回目以降は、前回設定の温度が表示されます。
- コンロタイマーモードを使って、調理する時間を1～120分の間で設定できます。31ページ
最初は「5分」が表示されます。タイマーは設定温度以上になると、カウントダウンを始めます。

7秒点滅後
点灯(オレンジ)



ピッ



点灯(オレンジ)



ピッ



点灯(青)点滅(青)



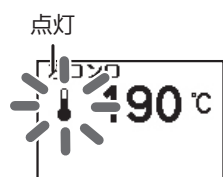
ピピッ



点滅



ピピッ
ピピッ
ピピッ

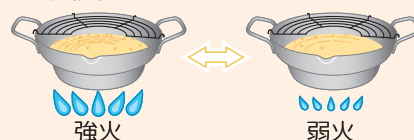


◆火力は鍋などの径に応じて、鍋底から炎があふれない程度に調節してください。

◆調理中は、機器から離れないでください。調理中のものが異常過熱し、火災の原因になります。

- 設定温度は、調理中でも変更できます。

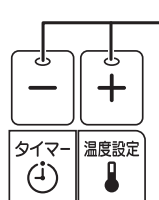
- 調理中は、自動で強火・弱火を繰り返して、設定温度を保ちます。



- 一定以上自動で火力が強くなるときに、ブザーが鳴ってお知らせします。

◆必ず火が消えたことを確認してください。

消灯



揚げものをする
(温度設定モード)

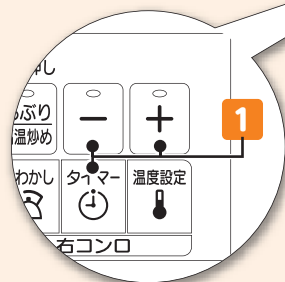
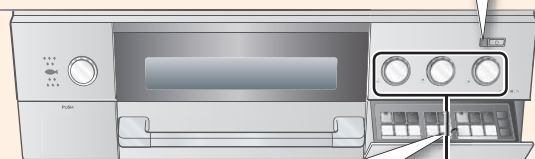
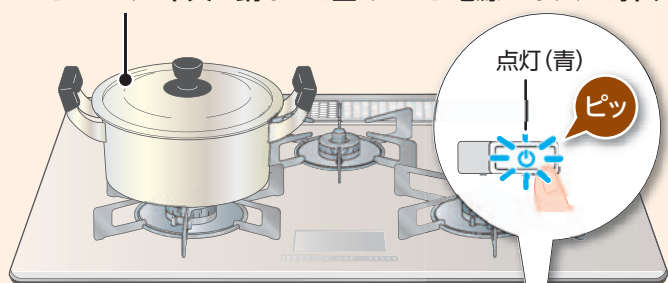


コンロタイマーを使う

設定時間になるとお知らせし、
自動で火を消します。
消し忘れ防止に便利です。



1. ごとくの中央に鍋などを置く 2. 電源スイッチを押す



ワンポイント

湯わかしモードと併用で麦茶の煮出し、ゆでも
の調理にも活用できます。

活用法 36 ページ

1 時間を設定する

使用するコンロのコンロタイマースイッチを
押す。

最初は「1」が表示されます。

コンロタイマーセットスイッチ【+ / -】を
押し、時間を設定する。

1 ~ 120 分まで 1 分刻みで設定できます。

押し続けると、30 分までは 5 分刻み、30 分以降は
10 分刻みで設定できます。

2 点火し、火力を調節する

操作ボタンを押す。

レンジフードが自動的に「中」の風量にて運転します。

操作ボタンをゆっくり回す。

設定時間の 30 秒前になると、ブザーでお知らせ

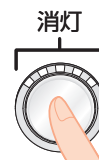
設定時間になると、ブザーでお知らせ
自動で火が消えます。



3 操作ボタンを押す

操作ボタンを押して、
消火の状態にする。

レンジフード設定の停止タイ
マー（約 3 分）終了後に、レ
ンジフードの運転は自動停止
します。



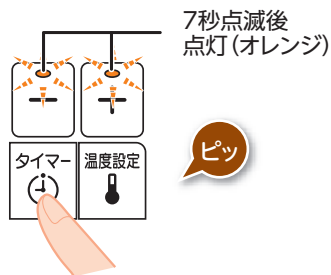
(コンロタイマーモード)

左/右コンロ

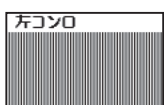
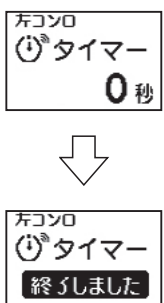
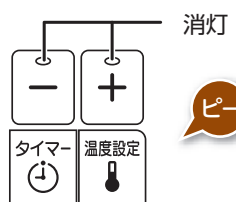
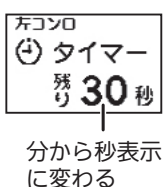
後コンロ

◆お願いと・お知らせ

- 設定時間は調理中でも変更できます。
- 取り消すときは、もう一度コンロタイマースイッチを押します。



◆火力は鍋などの径に応じて、鍋底から炎があふれない程度に調節してください。



- 操作ボタンを消火の状態に戻さないときは、火力表示ランプは、電源がオートオフになるまで点滅します。

炒めもの・いりものをする

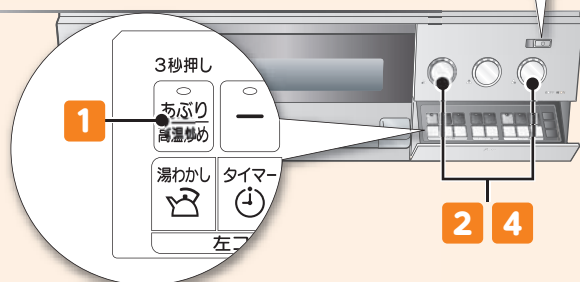
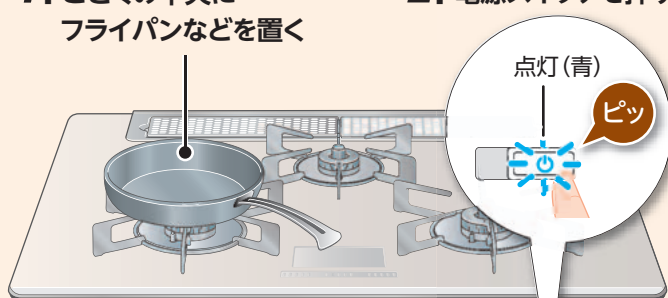
あぶり・高温炒めモードを使用することで、通常よりも高い温度で調理できます。

「天ぷら油加熱防止機能」「焦げつき消火機能」「鍋なし検知機能」を一時的に解除します。



1. ごとくの中央にフライパンなどを置く

2. 電源スイッチを押す



ワンポイント

こんなとき、あぶり・高温炒めモード

- 急に火が小さくなったり、消えてしまうとき
- 鍋を振る調理で弱火になると支障があるとき

警告



■あぶり・高温炒めモードで揚げもの調理をしない
調理油の温度が高くなり、発火するおそれがあります。



■焼網は使用しない
トップレートに落ちた油などが発火したり、機器の異常過熱のおそれがあります。



1 あぶり・高温炒めを設定する

使用するコンロのあぶり・高温炒めスイッチを3秒以上押す。

押している間は、天面表示部にアニメーションを表示します。ランプが点灯し、ブザーでお知らせします。

2 点火し、火力を調節する

操作ボタンを押す。

レンジフードが自動的に「中」の風量にて運転します。

操作ボタンをゆっくり回す。

3 調理をはじめる

4 火を消す

操作ボタンを押す。

レンジフード設定の停止タイマー(約3分)終了後に、レンジフードの運転は自動停止します。



注意



■あぶり調理をする場合は温度センサーの真上は避ける

温度センサー上に焼き汁などが滴下して温度センサーが汚れると、鍋底の温度を正しく検知できずに発火や途中消火、機器焼損の原因になります。また、焼き汁の滴下量や位置により、温度センサー故障の原因になります。

(あぶり・高温炒めモード) 左/右コンロ

◆お願いと・お知らせ

- 取り消すときは、もう一度あぶり・高温炒めスイッチを押します。
- 火が消えると、あぶり・高温炒めモードは取り消されます。
- コンロタイマーモードを使って、調理する時間を1～60分の間で設定できます。☞ 31 ページ
最初は「1」が表示されます。



◆火力は鍋などの径に応じて、鍋底から炎があふれない程度に調節してください。

- ◆加熱したフライパンなどに少量の調理油しか入れない場合は、油の温度が急激に上がり、発火のおそれがありますので注意してください。
- 一定以上自動で火力が強くなるときに、ブザーが鳴ってお知らせします。

◆必ず火が消えたことを確認してください。



ワンポイント

🔥 温度センサーのはたらき

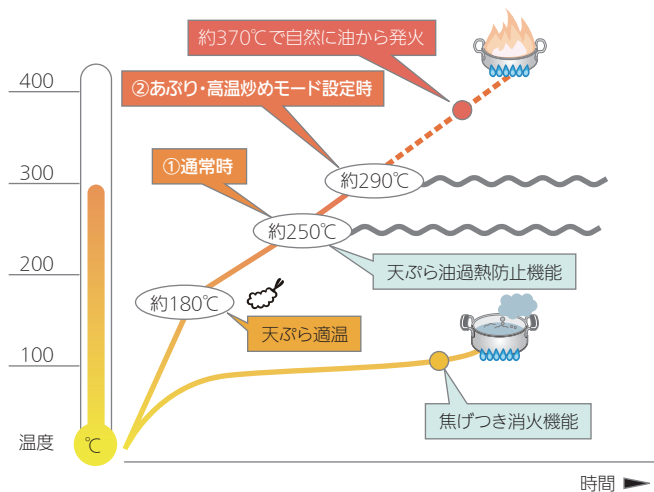
①通常時

温度センサーのはたらきにより、炒めものやいりものなど比較的温度の高い調理や、鍋の空焼きをしたときに、強火・弱火を自動で調節したり、自動で火を消したりします。

②あぶり・高温炒めモード設定時

あぶり・高温炒めモードは温度センサーがまったくはたらかなくなる機能ではなく、①通常時よりも高い温度まで調理できる機能です。あぶり・高温炒めモードを使用した場合でも、鍋の異常過熱を防ぐために、強火・弱火を自動で調節したり、自動で火を消したりします。あぶり・高温炒めモードに設定してから最長60分(最初に自動で弱火になってから約30分)で、自動で火を消します。

ただし、コンロタイマーの設定時間またはコンロ消し忘れ消火機能の設定時間になった場合は、自動で火を消します。あぶり・高温炒めモード設定中は、焦げつき消火機能や天ぷら油過熱防止機能、鍋なし検知機能ははたらきません。



お湯をわかす

お湯がわいたらお知らせし、
自動で火を消します。

1 湯わかしを設定する

使用するコンロの湯わかしスイッチを1回押す。
押すたびに、以下の順で切り替わります。

湯わかし → ゆでもの → 麺ゆで → 麺ゆで大
↑
取り消し(消灯)

2 点火し、火力を調節する

操作ボタンを押す。
レンジフードが自動的に「中」の風量にて運転します。

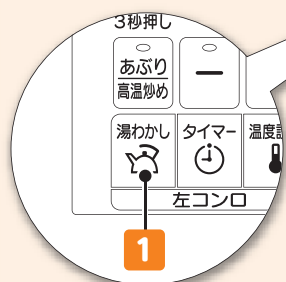
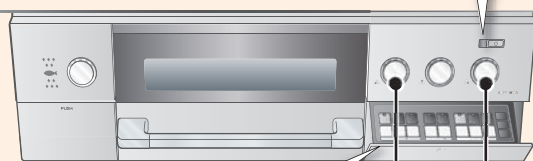
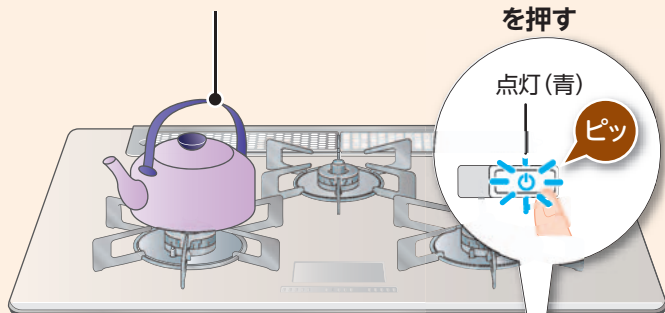
操作ボタンをゆっくり回す。

沸とうすると、ブザーでお知らせ
自動で火が消えます。

3 操作ボタンを押す

操作ボタンを押して、消火の状態にする。
レンジフード設定の停止タイマー（約3分）終了後に、
レンジフードの運転は自動停止します。

1. ごとくの中央にやかんや鍋を置く
2. 電源スイッチを押す



適した鍋	適した水の量
底の平らな鍋 やかん	500ml～3L やかんや鍋の大きさに応じた水 の量（最大容量の6～7割）に する。（ふきこぼれ防止）

❑お願い

温度センサーを正しくはたらかせるために、次のことを守ってください。

- ・ふたを開け閉めしない
- ・水をかき混ぜない
- ・やかんや鍋を動かさない
- ・水を追加しない
- ・具を入れない
- ・火力を変えない

(湯わかしモード)

左/右コンロ

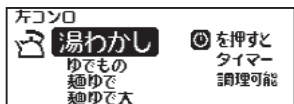
◆お願いと・お知らせ

- コンロタイマーモードを使って、沸とう後の保温時間を1～120分の間で設定できます。 31 ページ
最初は「5」が表示されます。

3秒押し



ピッ

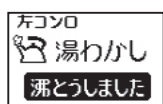
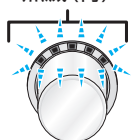


点灯(青)点滅(青)



- ◆火力はやかんや鍋の径に応じて、鍋底から炎があふれない程度に調節してください。

点滅(青)



ピー

- ◆やかんや鍋の形状・材質や水の量によって、お知らせ時間が異なる場合や、ふきこぼれる場合があります。やけどなどに注意してください。

- 湯わかしお知らせ時間を変更することができます。

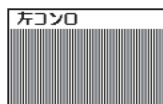
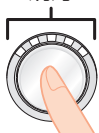
 23 ページ

- 以下の場合、100℃になる前に沸とうしたと判断される場合があります。

- ・一度わかしたお湯(約70℃以上)を再び湯わかしモードでわかしたとき
- ・やかんや鍋などの底が汚れていたり、さびていたりするとき

- 操作ボタンを消火の状態に戻さないときは、火力表示ランプは、電源がオートオフになるまで点滅します。

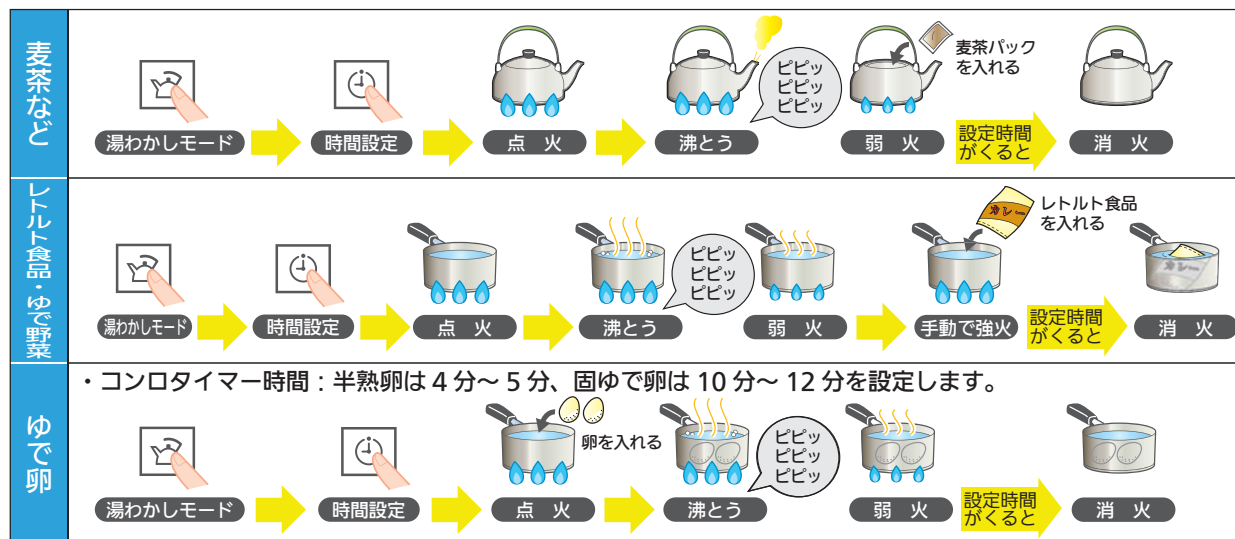
消灯



ワンポイント

沸とう後、コンロタイマーをはたらかせることができます。(湯わかしモード)

活用法(コンロタイマー時間は、材料の量などにより調節してください。)



ゆでものをする

水に具を入れて加熱するゆでものの調理において、火力を自動で調節し、ふきこぼれを防ぎます。沸とう後に具を入れるゆでものの調理（ほうれん草の下ゆでなど）には使用できません。

1 ゆでものを設定する

使用するコンロの湯わかしスイッチを2回押す。押すたびに、以下の順で切り替わります。



2 点火し、火力を調節する

操作ボタンを押す。

レンジフードが自動的に「中」の風量にて運転します。

操作ボタンをゆっくり回す。

沸とうすると、ブザーでお知らせ
火力を調節し、沸とうを維持します。

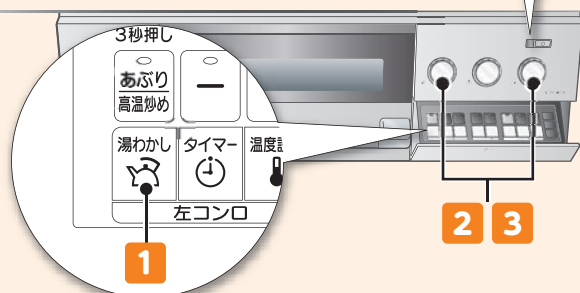
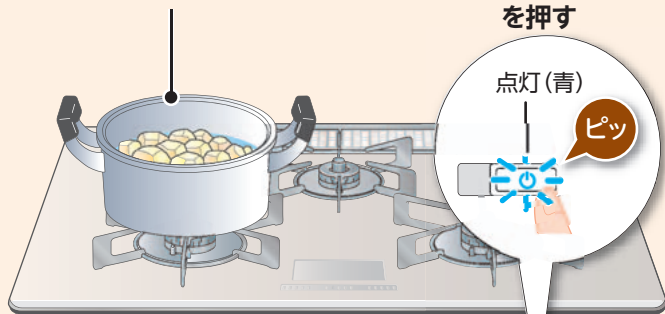
3 火を消す

操作ボタンを押す。

レンジフード設定の停止タイマー（約3分）終了後に、レンジフードの運転は自動停止します。

1. ごとの中央に鍋を置く

2. 電源スイッチを押す



適した鍋	適した水の量
鍋径：18～26cm 材質：アルミ、銅、 ホーロー、鉄、 ステンレス、多層	具の上面が最低4cm以上 浸る量から鍋の大きさに 応じた水の量（最大容量 の6割まで）にする
適した具	適さない具
じゃがいも、大根、にん じん、ごぼう、かぼちゃ	さといも、小豆、大豆、 たけのこ ※一片の大きさを3cm 角以下に切った具
具の最大量：500g まで（約4～5人分相当）	

❑お願い

温度センサーを正しくはたらかせるために、次のことを守ってください。

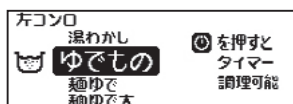
- ・水から開始し、お湯から開始しない
- ・水を追加しない
- ・鍋を動かさない
- ・沸とう後に具を入れない

(ゆでものモード) 左/右コンロ

3秒押し



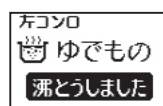
ピッ



点灯(青)点滅(青)



ピピッ



ピピッ
ピピッ
ピピッ

消灯



◆お願いと・お知らせ

◆温度センサーの温度が高いときは、ゆでものモードは設定できません。

冷めるのを待ってから、設定してください。

◆あく・くさみ抜きのためにぬか、米のとぎ汁、米粒を使用する場合は、ふきこぼれやゆで不足になる場合がありますので、手動で調理してください。

●コンロタイマーモードを使って、沸とうを継続する時間を1～60分の間で設定できます。[31 ページ] 最初は「5」が表示されます。

◆十分な水に具を浸して(具の上面から4cm以上)点火してください。

◆火力は鍋の径に応じて、鍋底から炎があふれない程度に調節してください。

◆鍋の形状・材質・水の量・食材の種類や大きさによって、お知らせ時間が異なる場合や、ふきこぼれる場合があります。やけどに注意してください。

◆調理中は、必ず鍋のふたをはずしてください。色や味を悪くするあくや酸などを水蒸気とともに蒸発させるためです。

◆一度ゆでもので使用した水を再度使用する場合は、手動で調理してください。

◆ゆで不足の場合は、手動で調理してください。

◆コンロタイマーモードを使って、時間を設定した場合や、時間設定しない場合、終了5分前にコンロタイマーモードに切り替わります。

●ゆでもものお知らせ時間を変更することができます。

[23 ページ]

●沸とうし、お知らせしてからでも、コンロタイマーモードを使って、沸とうを継続する時間を1～60分の間で設定できます。[31 ページ]

●一定以上自動で火力が強くなるときに、ブザーが鳴ってお知らせします。

●必ず火が消えたことを確認してください。

ワンポイント

ゆで時間の目安(火力自動調節に入ってから時間)

具材	切り方	ゆで時間の目安	具材	切り方	ゆで時間の目安
じゃがいも	丸ごと (約100g)	20～25分	にんじん	輪切り (約1cm)	4～6分
	4等分	10～15分		半月切り (厚さ約1cm)	
だいこん	輪切り (約3cm)	50～60分	ごぼう	約5cm 切り	5～10分
	いちよう切り (厚さ約1cm)	15～20分	かぼちゃ	約3cm 角	5～10分

注) 食材の大きさ、水の量、鍋の大きさにより、ゆで時間が前後する場合があります。

麺をゆでる

火力を自動で調節し、設定したゆで時間になると自動で火を消し、ふきこぼれやゆで過ぎを防ぎます。

必ず水から行ってください。お湯からは行わないでください。

1 麺ゆでを設定する

使用するコンロの湯わかしスイッチを押す。

鍋径 16 ～ 22cm の場合…麺ゆで：3 回

鍋径 24 ～ 28cm の場合…麺ゆで大：4 回

押すたびに、以下の順で切り替わります。



2 ゆで時間を設定する

コンロタイマーセットスイッチ[+/-]を押し、時間を設定する。

1 ～ 30 分まで 1 分刻みで設定できます。

3 点火し、火力を調節する

操作ボタンを押す。

レンジフードが自動的に「中」の風量にて運転します。

操作ボタンをゆっくり回す。

沸とうすると、ブザーでお知らせ

4 調理をはじめる

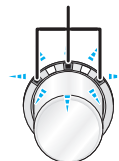
食材を入れ、すぐにコンロタイマースイッチを押す。

火力を調節し、沸とうを維持します。

設定時間の 30 秒前になると、ブザーでお知らせ

設定時間になると、ブザーでお知らせ
自動で火が消えます。

点滅(青)



5 操作ボタンを押す

操作ボタンを押して、消火の状態にする。

1. ごとの中央に鍋を置く

2. 電源スイッチを押す

点灯(青)

ピー

3 5

適した鍋	適した水の量
麺ゆで 鍋径：16 ～ 22cm	500ml ～ 3L
麺ゆで大 鍋径：24 ～ 28cm	500ml ～ 4L
材質：アルミ、銅、 ホーロー、鉄、 ステンレス、多層	麺 100 g に対し水 1L を目安と し、鍋の大きさに応じた水の量 (最大容量の 6 割まで) する
適した麺	適さない麺
そば、うどん、ラーメン、 ひやむぎ、そうめん、 スパゲッティ	冷凍麺

◆お願い

温度センサーを正しくはたらかせるために、次のことを守ってください。

点火して沸とうするまで

- ふたを開け閉めしない
- 鍋を動かさない
- 具を入れない
- 水をかき混ぜない
- 水を追加しない
- 火力を変えない

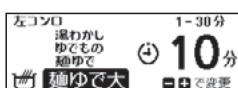
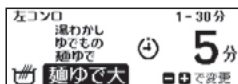
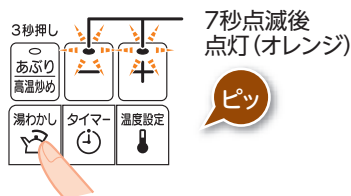
麺ゆで中は

- 鍋を動かさない
- 具を入れない
- 水を追加しない
- ひんぱんに火力を変えない

(麺ゆでモード・麺ゆで大モード) 左/右コンロ

◆お願いと・お知らせ

◆温度センサーの温度が高いときは、麺ゆでモード・麺ゆで大モードは設定できません。冷めるのを待ってから、設定してください。



◆ゆで時間は、食品袋などに記載のゆで時間を目安にしてください。



◆火力は鍋の径に応じて、鍋底から炎があふれない程度に調節してください。

◆鍋の形状・材質や水の量によって、沸とうのお知らせ時間が異なる場合や、ふきこぼれる場合があります。やけどなどに注意してください。

◆沸とうする前に、麺を入れないでください。ふきこぼれる場合があります。

◆粉がついた麺は、よくはらい落としてください。ふきこぼれる場合があります。

◆麺を入れた後は、必ず鍋のふたをはずしてください。

◆麺を入れた後、すぐコンロタイマースイッチを押してください。

◆麺ゆで中は、ときどきかき混ぜてください。ふきこぼれや飛び散る場合があります。

◆一度麺ゆでした水で麺をゆでる場合は、手動で調理してください。

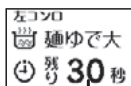
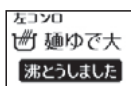
◆ゆで不足の場合は、手動で調理してください。

●麺ゆでお知らせ時間を変更することができます。

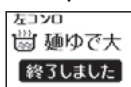
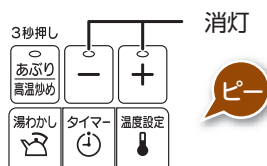
📖 23 ページ

●一定以上自動で火力が強くなるときに、ブザーが鳴ってお知らせします。

●沸とうしてコンロタイマースイッチを押さないと、10分で火が消えます。



分から秒表示に変わる



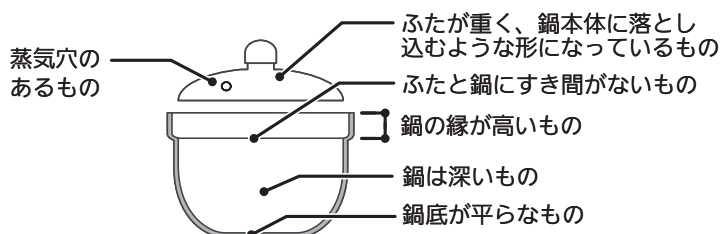
●操作ボタンを消火の状態に戻さないときは、火力表示ランプは、電源がオートオフになるまで点滅します。

ごはん・おかゆを炊く

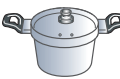
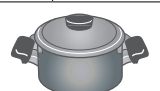
炊飯モードに適した鍋

おいしく炊くために、炊飯モードに適した鍋を選びましょう。

※炊飯専用かま、炊飯専用鍋、炊飯専用土鍋も別売しています。  81 ページ



炊飯鍋の選びかた

鍋の種類			ごはん	おかゆ	炊飯量・ポイント
別売の炊飯専用かま	RTR-03E		○	○	白米3合、全がゆ0.5合 炊きこみごはん2合
別売の炊飯専用鍋	RTR-300D1		○	○	白米3合、全がゆ1合、七分がゆ0.5合 炊きこみごはん2合
	RTR-500D		○	○	白米5合、全がゆ1合、七分がゆ0.5合 炊きこみごはん4合
アルミの鍋			※ ○	※ ○	薄手(2mm以下)の場合、焦げつきやすくなります。
ホーロー、ステンレスの鍋			※ ○	※ ○	白米は焦げる場合があります。 薄手(2.5mm以下)のステンレス製の鍋の場合、焦げつきやすくなります。
市販の土鍋			✕	※ ○	おかゆ以外は炊けません。
別売の炊飯専用土鍋	RTR-20IGA		○	○	白米2合、全がゆ1合、七分がゆ0.5合
ガラス鍋・圧力鍋 多層鍋			✕	✕	うまく炊けないので使用しないでください。

○：適しています ✕：適していません（温度を正しく検知できません。）

※ふたに蒸気穴がない場合や鍋の材質・形状によっては、焦げつきやふきこぼれなど、うまく炊けない場合があります。

このような場合は、別売の炊飯専用かま、炊飯専用鍋、炊飯専用土鍋を使用してください。

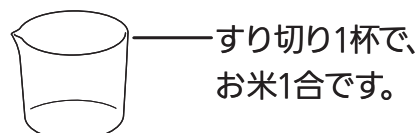
1回で炊ける量

ごはん	1～5合
炊きこみごはん	1～4合
全がゆ	0.25～1合
七分がゆ	0.25～0.5合

おいしく炊くコツ

1 お米は正確にはかる

180mlの計量カップを使うと便利です。



180mlの計量カップ

(炊飯モード) 後コンロ

2 たっぷりの水で手早くとぐ

- はじめのとき水は、すぐに捨ててください。
ぬかを含んだとき水をお米が吸わないようにするためです。
- 「とぐ → 洗い流す」を数回繰り返します。
にごりが薄くなるまで、手早く洗ってください。



手早くとぐ

● お知らせ

- お米のときが足りない場合は、におい、黄ばみ、焦げの原因になります。

お米と水の量の目安

お米の量		水の量		
		ごはん	おかゆ	
容量	合数(重量)		全がゆ	七分がゆ
45ml	0.25合(約 38g)	—	360ml	470ml
90ml	0.5 合(約 75g)	—	540ml	630ml
180ml	1 合(約150g)	300ml	900ml	—
270ml	1.5 合(約225g)	390ml	—	—
360ml	2 合(約300g)	480ml	—	—
450ml	2.5 合(約375g)	580ml	—	—
540ml	3 合(約450g)	670ml	—	—
720ml	4 合(約600g)	930ml	—	—
900ml	5 合(約750g)	1130ml	—	—

□お願い

- 水の量は目安です。好みに応じて加減してください。
- 炊きこみごはんの場合は、ごはんに比べ約 1 割増の水の量（調味料、だしを含む）にしてください。

お米を水に浸す時間

お米の種類		水に浸す時間	
		春～夏	秋～冬
ごはん	白米	30分以上	60分以上
	無洗米・発芽玄米		
	胚芽精米	60分以上	90分以上
	雑穀米		
	古米		
	麦ごはん		
おかゆ		0～30分	

ワンポイント

- 洗米した後、必ず 30 分以上水に浸してから炊飯してください。
- 洗米してすぐのお米を炊飯するとごはんが硬くなります。
- 一度水に浸したお米は、砕けやすくなります。砕け米が混じったり、お米をとき足りない場合はにおい、黄ばみ、炊飯がうまくできない原因になります。

無洗米を炊くときのコツ

- 1、2 度すすぐ
にごったまま炊飯するとでんぷん質が沈殿し、生炊きの原因になります。
- 十分に水に浸す
- 水の量を 3%程度多くする
または、無洗米専用計量カップを使ってください。
- よくかき混ぜて気泡を飛ばす
表面に気泡ができると、水が吸収されず、生炊きの原因になります。

ごはん・おかゆを炊く

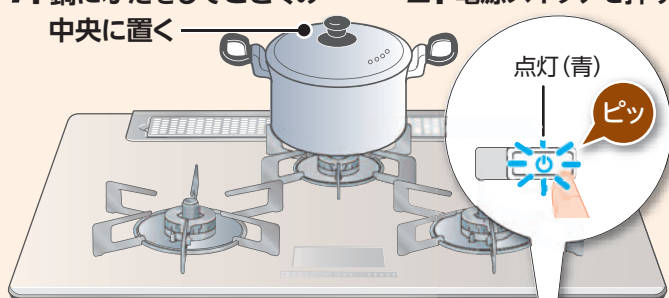
ごはんやおかゆが炊けたらお知らせし、自動で火を消します。



「ごはん【もちもち】」は、「ごはん」よりもちもちとした食感で炊き上げます。

1. 鍋にふたをしてごとの中央に置く

2. 電源スイッチを押す



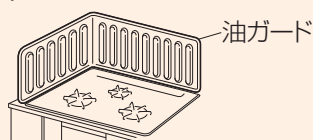
2 3



鍋底の中心に温度センサーが密着するように置く。
別売の炊飯専用土鍋以外は使用できません。

◇お願い

本機器には、炊飯専用土鍋が付属されていません。「専用土鍋」モードは、必ず別売の炊飯専用土鍋を使用してください。P.81 ページ
市販の土鍋ではうまく炊飯できません。
準備や調理については、炊飯専用土鍋に付属の「取扱説明書」をよく読んで、使用してください。
炊飯時は、油ガードを取り除いてください。
機器を囲う油ガードなどを設置すると排気の流れが変わり、燃焼不良となり炊きムラなどの原因になります。



1 炊飯と炊飯量を設定する

炊飯スイッチを押す。

押すたびに、以下の順で切り替わります。

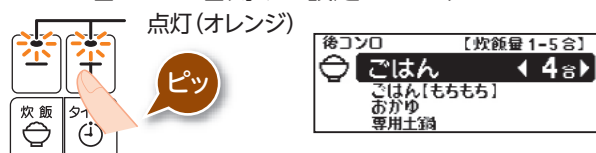


ごはん・ごはん【もちもち】

コンロタイマーセットスイッチ[+/-]を押し、炊飯量を設定する。

最初は「3合」が表示されます。

1～5合まで1合刻みで設定できます。



2 点火する

後コンロの操作ボタンを押す。

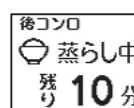
レンジフードが自動的に「中」の風量にて運転します。

ごはん・ごはん【もちもち】

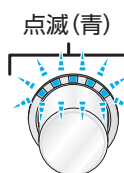
専用土鍋

炊きあがると、ブザーでお知らせし、むらしがスタート【ごはんモード：10分】
自動で火が消えます。【専用土鍋モード：15分】

「弱火」から「強火」、
「弱火から強火」を繰り返す



むらしが終了すると、ブザーでお知らせ



3 操作ボタンを押す

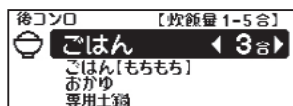
操作ボタンを押して、消火の状態にする。

レンジフード設定の停止タイマー（約3分）終了後に、レンジフードの運転は自動停止します。

(炊飯モード)

後コンロ

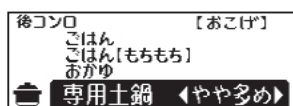
(つづき)



専用土鍋

コンロタイマーセットスイッチ [+ / -] を押し、おこげ加減を設定する。

少なめ、やや少なめ、標準、やや多め、多めより設定できます。

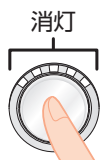
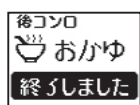
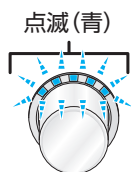


火力表示ランプ
「弱火」から「強火」、「強火」から「弱火」を繰り返す



おかゆ

炊きあがると、ブザーでお知らせ
自動で火が消えます。



❑お願いと・お知らせ

❑炊飯開始後、一定時間が経過するとコンロタイマーセットランプは消灯し、設定の変更および取り消しはできなくなります。

取り消すときは、いったん火を消してください。

❑風が吹きこんでいたり、扇風機やエアコンなどの風が当たっていると、うまく炊けません。炎に風が当たらないようにして使用してください。

●炊飯モード使用中は、火力の調節はできません。

●2回目以降は、前回設定の炊飯量が表示されます。

●ごはんモード・ごはん【もちもち】モードでの少量炊飯で、ごはんへの着色（こげ）が気になる場合や炊き不足を感じる場合、炊き加減を3段階で調節できます。P.23 ページ

🔔 **炊飯時間の目安** 「ごはん【もちもち】」は、「ごはん」より炊飯時間が長くなります。

ごはん	28～37分（むらし10分を含む）
ごはん【もちもち】	29～42分（むらし10分を含む）
おかゆ	35～50分
専用土鍋	32～38分（むらし15分を含む）

❑むらし後は…

ごはんを底からよくほぐしてください。

余分な水分がとび、ごはんがおいしくなります。

🔔 **ごはんを炊くとき**

●温め直しはできません。（焦げつくことがあります。）

●むらし中に操作ボタンを戻すと、むらし終了のお知らせブザーが鳴りません。

🔔 **おかゆを炊くとき**

❑炊き上がったごはんからおかゆ（雑炊）を作るときは、手動で調理してください。

❑最初から塩などの調味料を入れたり、炊いている途中でかき混ぜたりしないでください。粘りがでたり米粒がつぶれうまく炊けない場合があります。

❑ふきこぼれる場合はふたをずらしたり、持ち上げたりしてふきこぼれないようにしてください。

❑おかゆの炊き上がりで、水分の量が多い場合は再度点火し、様子を見ながら火力を調節してください。

🔔 **炊きこみごはんを炊くとき**

❑お米に水分を吸収させるため、調味料は炊く直前に入れてください。

❑具やバター、ケチャップなどの調味料はお米の上にのせて、炊き上がり後に混ぜてください。沈殿するとうまく炊けない場合があります。

●操作ボタンを消火の状態に戻さないときは、火力表示ランプは、電源がオートオフになるまで点滅します。